

令和4年度 仁木町立仁木中学校 学校経営方針 全体構想

公教育の目的・目標

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・平成29年度版中学校学習指導要領・第3期教育振興基本計画
北海道教育推進計画・仁木町教育行政執行方針・仁木町教育大綱・仁木町教育目標

生徒の実態：子供を大切に育てる風土で育ち素直で明るく前向きに生活できる
保護者・地域の願い：思いやりがあり、目標に向かって実行、努力できる子

校訓 知行合一

よりよい学校教育を通じて
よりよい社会を創る
(学習指導要領の理念)

学校の教育目標

令和2年4月1日制定

仁の心を持ち、広い視野に立って最大に生きる生徒を育成する

展望 (ビジョン) 教育目標の実現を図り、豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手を育成する

使命 (ミッション) 授業の質を高め、全ての生徒に必要な資質・能力を確実に身につける

目指す学校像

- ・生徒第一主義の学校
- ・相互に期待と信頼、尊敬と感謝に裏付けられた学校
- ・学校内の環境を整備し秩序と潤いのある温かい学校
- ・地域と協働し、よりよい社会を創造する学校
- ・地域の誇りとなる学校

目指す生徒像

- ・未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を身につけ、**広い視野に立って**よりよい未来を創造する生徒
- ・生きて働く知識・技能を習得し、**最大に実践**につなげる生徒
- ・学びを人生や社会に生かそうとする **学びに向かう力・人間性を備え、仁の心を持ち、心身共に強靱で、他者と協働し、生きる生徒**

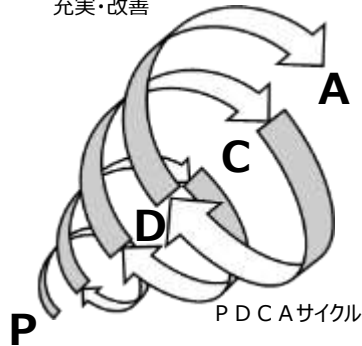
目指す教師像

- ・チームで最善の教育を目指し最大に生きる教師
- ・生徒を効果的に導く教師
- ・レジリエンスのある教師
- ・ウエルビーイングな教師
- ・謙虚で感謝する教師
- ・地域と協働し、よりよい社会を創造する教師

開かれた教育課程の実現

1 信頼される学校づくり

- (1) 地域とゴールを共有し、学校教育の充実・改善の好循環を生み出すカリキュラム・マネジメントの実現
 - ① 学校運営協議会をいかにした改善活動の充実(各種評価・調査結果を基に協働して改善策を推進する)
 - ② 情報活用能力、インクルーシブ教育システムの視点を中核とした教科横断的な実践を重ね確実な資質・能力の育成に向けたよりよい環境整備
 - ③ 学校運営協議会、外部機関、学習支援員、スクールカウンセラー、保健師等、地域人材や専門家の人的体制と教育効果を高めるICT機器等の物的体制の整備と改善
 - ④ 教育用SNS Classtingを活用したデジタルの情報発信と情報共有の充実・改善



質の高い教育活動の創造

1 教育内容の充実 (9年間の学び)

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ① 校内研修の充実：各教科研究と授業改善
 - ・ Society5.0を生き抜く子供たちに必要な資質能力を確実に育成する授業デザインの共創
 - ・ 育成を目指す資質・能力、見方・考え方
 - ・ 評価をいかにした学習指導の工夫
 - ・ T・T、放課後学習会を活用した個別指導
 - ・ 授業のユニバーサルデザイン、課題と振り返り
 - ・ 各教科における情報活用型プロジェクト学習
 - ② 道徳科：道徳的な判断力、心情、実践意欲
 - ③ 進路指導：9年間のキャリアパスポートの整備
今の学びが未来を創るキャリア教育の充実
- (2) StuDX Style、G I G A スクール構想の実現
 - ① 個別最適な学びと、協働的な学びの実現
 - ・ まなびポケット、MEXCBT、Classting
 - ・ ロイノート・スクールの効果的な活用
 - ・ 9年間の学習履歴(クラウド)の整備・活用
 - ・ 9年間の情報活用能力体系の活用
- (3) 多様性の受容、いじめを許さない校風の醸成
- (4) 道徳教育の充実：よりよい生き方
- (5) 生活習慣・学習習慣の維持・徹底
 - ① 心を込めた挨拶、心を込めた歌声
 - ② 整理・整頓・清潔・清掃・時間認識
 - ③ 早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習
 - ④ 一日の振り返り、朝の会と帰りの会のシステム
- (6) 総合的な学習の時間：クラスで取り組む探求「仁で生きる」社会参画と自己の生き方の探求
- (7) 学校安全教育の充実
 - ① 感染症対策の徹底
 - ② 防災教育の充実
- (8) 食育の充実

質の高い効率的な組織運営の実現

1 個々のスキルアップ

- (1) OJT研修の充実
 - ① 目的と目標の共有
 - ② StuDX Style、STEAM教育の理解と協働による推進
 - ④ 外部との折衝・連携

2 教育環境の充実 組織的な学校運営の実現

- (1) 整理・整頓・清潔・清掃の徹底と時間認識
- (2) 報告・連絡・相談の徹底
 - ① 意志決定システム遵守
 - ② 校務支援システムの活用
 - ③ 会議の精選と効率化
 - ④ ケース会議の活用(不登校・いじめ問題等への対応)
- (3) 予算執行管理の徹底とコスト意識の維持・徹底(時間・経費)
- (4) 学校運営協議会組織と校務分掌組織のデザインの工夫・改善と見直し

3 服務規律の徹底とマナーの励行

- (1) 法令遵守
- (2) 接遇能力の向上
 - ① 電話・来客対応等

校訓：知行合一

意味：生きてはたらく知識：「知は行の始なり、行は知の成るなり（知ることは行為の始めであり、行為は知ることの完成である）」「行動を伴わない知識は未完成である」：知識が駆動する：主体的・対話的で深い学び
知行合一 出典 王陽明 伝習録

教育目標：仁の心を持ち、広い視野に立って最大に生きる生徒を育成する

仁の意味：「イ（にんべん）」が人を、「ニ」が2段の敷物（座布団）を表し、座布団に座る人の姿を表現。：他人と親しみ、思いやりの心をもって共生を実現しようとする実践理論：儒教では「愛」：いつくしむ、親しむ、思いやり；果実の種；私的なわがままを抑えて、礼・社会的規範に従うこと；仁木町の仁、仁木町に生まれ、仁木町に育った生徒が、将来仁木町に貢献する人になって欲しいという願い
最大に生きるの意味：人と比較する相対の世界ではなく、絶対の世界で幸福によりよく生きる

目指す生徒像の構成：学習指導要領の育成すべき資質・能力の三つの柱で構成

※新学習指導要領では、児童生徒の「何ができるようになるか」という観点で、学力の三要素をふまえて「資質・能力の三つの柱」として示している。

平成19年6月学校教育法改定で明らかとなった学力の三要素

1. 基本的な知識・技能
2. 思考力・判断力・表現力等の能力
3. 主体的に学習に取り組む態度



出展 文部科学省 新しい学習指導要領の考え方ー中央教育審議会における議論から改定そして実施へー

レジリエンス意味：自発的治癒力（心理学）外力による歪みを跳ね返す力（物理学）、期待と信頼そして樂觀主義を維持・徹底し、人との関わりから勇気を高め、困難から効率的に素早く立ち直る強靱な心

ウェルビーイング意味：身体的、精神的、そして社会的に良好な状態であること。
1946年に、世界保健機構（WHO）が、同機関憲章草案において示した健康の定義